

## 患者さんおよびご家族の方への臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部では以下の臨床研究を実施しています。

### 【研究題名】

重症患者における循環作動薬が酸素化(酸素が血液に取り込まれること)に及ぼす影響

### 【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科集中治療部 学内講師 増山智之

### 【研究の対象となる方】

2017年8月1日から2022年7月31日まで集中治療室(ICU・CCUまたはEICU)に入室された患者さんの中で、入室中に循環作動薬(ニカルジピン、ニトログリセリン、ドブタミン、ノルアドレナリン、バソプレシン、ランジオロール)を使用させていただいた方です。

### 【研究の目的・方法】

循環作動薬には、血圧が高い際に用いる降圧薬、血圧低下時に用いる昇圧薬、心臓の機能低下の際に用いる強心薬などがあります。循環作動薬は血管に作用する薬なので、肺の血管にも作用することで、患者さんの肺機能の一つである酸素化(酸素が血液に取り込まれること)に影響を及ぼすことが知られています。しかし、どのような薬剤がどの程度酸素化に影響を及ぼすかはよくわかっていません。今回の研究では、集中治療室に入室して6種類の循環作動薬(ニカルジピン、ニトログリセリン、ドブタミン、ノルアドレナリン、バソプレシン、ランジオロール)のうちいずれかを使用させていただいた患者さんの、薬剤投与前後での酸素化の変化を検証することで、今後の治療の改善を得ることを目的とします。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

年齢、性別、診断名、体重、基礎疾患、ICU 入室中のバイタルサイン、血液検査結果、使用薬剤などの診療情報です。

### 【研究期間】

この研究の期間は、許可されてから2025年5月31日までです。

### 【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資

料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。研究の対象期間に 集中治療室へ入室された方で、ご自身が研究の対象者かどうか不明である場合でも、診療記録を研究に使ってほしくない場合にはご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

TEL 048-647-2111 研究担当者:麻酔科集中治療部 増山智之

### 苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター総務課 TEL 048-648-5225